

決定！ 第25回写真の町東川賞

四半世紀目の海外作家賞に オーストラリア人女性写真家、アン・フェラン氏



第25回写真の町東川賞の受賞者が決定しました。海外作家賞は、オーストラリアの写真家、アン・フェラン氏、国内作家賞は柴田敏雄氏（東京都内在住）、新人作家賞は石川直樹氏（同）、特別賞には露口啓二氏（札幌在住）がそれぞれ受賞しました。授賞式は8月1日（土）午後2時から、レセプションは同日同3時半から、ともに農村環境改善センターで行います。同時開催の受賞作家作品展は、同日から9月6日まで、町文化ギャラリーで開きます（8月1、2日は入場無料）。

海外作家賞にアン・フェラン氏

シドニー生まれ、オーストラリア出身。植民地としてのオーストラリアの歴史、社会の片隅の女性、子供の存在をテーマにした写真作品で知られています。「レースを編む移民の女工とその子孫をモチーフにして、その風景と子孫とレ

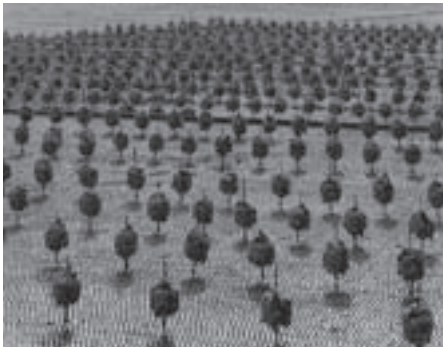


シリーズ「Lost to Worlds」2009



シリーズ「Soft Caps」1995

ースの帽子を浮かき上がった作品は、世代を超えた関係性を祝賀する。滞在した土地特有の歴史を調べ、その中に埋没した匿名の生命、歴史に光を当て、物事を視覚的に正確に伝える写真の力を基本にしながら、見えない歴史や積層した時間、にまで目を向けようとする姿勢、方向性は、特別賞の露口氏とも共通する部分



「高知県土佐郡大川村」2007年

であり受賞にふさわしい」（佐藤時啓審査委員）と評しています。
国内作家賞は柴田敏雄氏
80年代からダムやコンクリート堰（せき）など人工的な構造物を写しています



「青森県平川市」2006年

た。審査委員の写真家、佐藤時啓氏は「モノクローム作品は、その美しさに目を奪われるとともに、日本の風土が含意する社会問題やそれに対する批判意識も想起させる」と評しています。
90年代、日本各地のコンクリート護岸工事の跡を大型カメラで切り撮り、白黒